



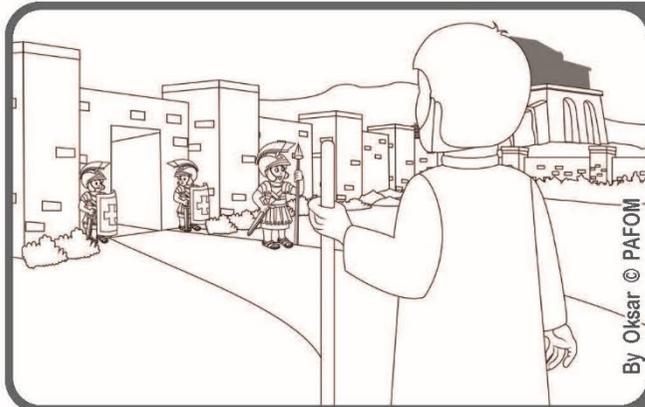
あいするじゅう



フォコラーレ

focolare.org/japan

わたしはだれにたいしてもじゅうなものです。すべてのひとのどれいになりました。できるだけおおくのひとをえるためです。(コリントのしんとへのてがみ I 9:19)



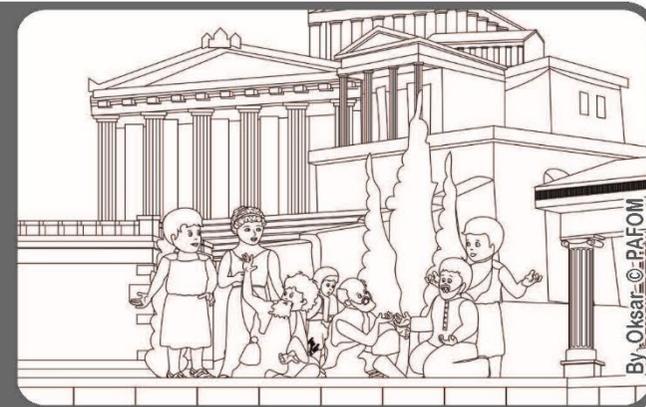
By Oksar © PAFOM

パウロはイエスさまのあいをたくさんのひとにつたえるために、ながいたびをします。そのひとつにギリシアのコリントへのたびがあります。



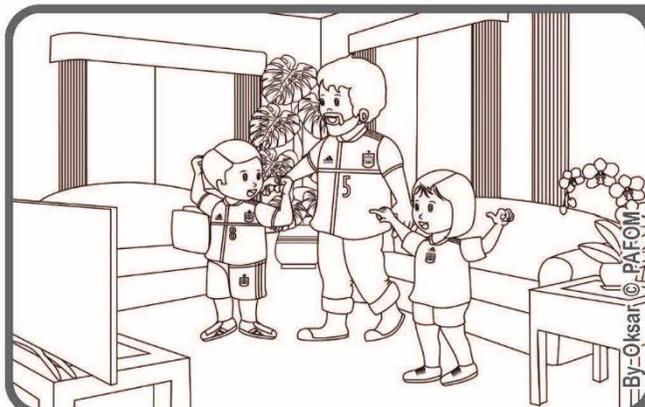
By Oksar © PAFOM

イエスさまのでしになったばかりのひとは、どうしたらよいかまだわかっていません。パウロにとっていちばんたいせつなことは、みんなをあいすること。とくによいひとたちをあいすることです。



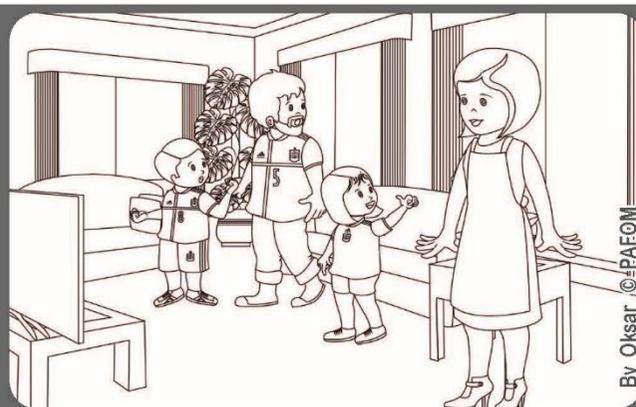
By Oksar © PAFOM

パウロはだれにたいしてもじゅうですが、みんなにつかえるようにとはなしました。



By Oksar © PAFOM

スペインのマドリードにいるセシリアのけいけん：おとうさんとおとうととサッカーのしあいをみていました。



By Oksar © PAFOM

おかあさんがいいました。「つかれてかえってきたのに、わたしがゆうごはんをつくるの？だれかてつだってくれる？」



By Oksar © PAFOM

しあいをみたかったのですが、おかあさんのなかにいるイエスさまをあいそう！とおもい、おかあさんのおてつだいをしておかあさんをよろこばせました。そしてわたしたちがおうえんしていたチームが4たい0でかちました！！！！